

— 科学研究費助成事業 —
本学における採択課題一覧
【研究代表者】

研究種目	部局名	職名	研究代表者	研究課題名	事業期間
基盤研究(A)	経営学部	教授	齋藤 政彦	代数幾何と可積分系の融合 - モジュライ理論とパンルヴェ型方程式 -	2022 2026 1
基盤研究(B)	心理学部	准教授	河瀬 諭	音楽に同期した身体運動による社会的な絆の形成プロセスの解明	2023 2025 2
基盤研究(B)	薬学部	准教授	亀井 敬泰	認知症根本治療を実現するバイオ創製基盤としての海馬標的化DDSの確立	2023 2025 3
基盤研究(B)	薬学部	教授	角田 慎一	2型TNF受容体を介する免疫制御機構の解明とがん免疫療法への応用	2022 2024 4
基盤研究(B)	総合リハビリテーション学部	教授	西垣 千春	若者の不安定就労の長期的影響および原因分析に基づく困窮予防対策に関する研究	2021 2023 5
基盤研究(B)	栄養学部	准教授	石井 剛志	炭水化物と料理の食事相性の分子科学的検証	2021 2024 6
基盤研究(B)	総合リハビリテーション学部	教授	大庭 潤平	片側前腕切断者の運動生理学的特性と筋電義手操作能力に関する研究	2021 2023 7
基盤研究(B)	薬学部	教授	国嶋 崇隆	カルボカチオンの制御に関する方法論の確立と求核置換反応への展開	2021 2023 8
基盤研究(B)	総合リハビリテーション学部	教授	佐野 光彦	パングラデシュの障がい児童・生徒への教育支援、福祉、弱者包摂に向けての総合的研究	2020 2023 9
基盤研究(C)	人文学部	教授	赤井 敏夫	媒体の変遷から見たインド映画の映像的特性的研究	2023 2026 10
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	准教授	森下 美和	言語産出の流暢性向上を目指した英語学習環境の構築：コロケーション習得を焦点に	2023 2025 11
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	仁科 恭徳	日英・英日パラレルコーパスオンライン検索ツールの発展と拡張、およびその活用研究	2023 2025 12
基盤研究(C)	経営学部	教授	島永 和幸	個性と業種特性を反映した人的資本開示モデルの構築に関する理論的・実証的研究	2023 2025 13
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	田丸 淳子	高齢者施設の高齢者による栄養管理に必要な管理栄養士のリーダーシップスタイル	2023 2025 14
基盤研究(C)	心理学部	准教授	中川 裕美	小規模法人の健康経営における阻害要因の解明および支援プログラムの開発	2023 2025 15
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	糟谷 佐紀	障害者のための住宅政策の成立過程に関する研究	2023 2025 16
基盤研究(C)	薬学部	講師	江角 悟	医療ビッグデータと疾患モデルを用いた抗がん剤誘発抑うつ障害の予防・治療薬の開発	2023 2025 17
基盤研究(C)	薬学部	教授	徳山 尚吾	脳卒中後疼痛の発症機序におけるオレキシン受容体シグナルの関与	2023 2025 18
基盤研究(C)	薬学部	講師	刈谷 龍昇	PDX由来がん細胞株の有用性の証明	2023 2025 19
基盤研究(C)	薬学部	助教	安藤 徹	巨大腫瘍に対する新たな治療法としてのガドリニウム中性子捕捉療法	2023 2025 20
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	西尾 久英	唾液・口腔粘膜DNAを用いた次世代・脊髄性筋萎縮症スクリーニング・システムの開発	2023 2025 21
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	准教授	小川 真寛	地域在住高齢者の主体性を促す生活行為に基づく身体活動量評価ツールの開発	2023 2025 22
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	大平 英夫	高齢マウスへの習慣的飲酒に対するゴマリグナン類の大腸老化抑制と機序解明の検討	2023 2025 23
基盤研究(C)	全学教育推進機構	講師	中原 香苗	茶書よみりる寺院における儀式催行の実態ならびに芸能の継承と書物生成に関する研究	2022 2024 24
基盤研究(C)	人文学部	教授	野田 春美	ノグと方言におけるノグ相当形式の対照研究	2022 2025 25
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	准教授	香月 裕介	日本語教育学における質的研究プラットフォーム構築のための基礎研究	2022 2025 26
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	実習助手	簡 珮鈴	VRを用いた同期型遠隔授業による内容言語統合型異文化理解学習のデザイン	2022 2024 27
基盤研究(C)	法学部	准教授	藤川 直樹	ドイツ第二帝政期におけるラーバントの法学と実践的活動に関する個人史的研究	2022 2025 28
基盤研究(C)	法学部	教授	塚田 哲之	違憲審査の政治的・社会的統合機能に関する比較憲法学的研究	2022 2024 29
基盤研究(C)	経済学部	教授	林 隆一	産業用ロボットエコシステムの多様性における各国Sierの機能分析	2022 2025 30
基盤研究(C)	薬学研究科	特命教授	水谷 健一	脳血管新生を調節するアグリカン型プロテオグリカンの解析	2022 2024 31
基盤研究(C)	栄養学部	准教授	吉村 征浩	シヨ糖過剰摂取がアレルギー性皮膚炎モデル動物の症状を悪化させるメカニズムの解明	2022 2025 32
基盤研究(C)	栄養学部	講師	田村 行識	ゴルジ体の亜鉛動態に着目した糖尿病性筋萎縮の新たな病態機序の解明	2022 2024 33
基盤研究(C)	心理学部	研究員	中田 英利子	加齢に伴う失敗の認知と時間的展望との関係の変化に関する心理学的研究	2022 2024 34
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	栗原 由加	グローバルネットワークを活用した参加型漢字学習システムの構築と検証	2021 2023 35
基盤研究(C)	経営学部	教授	千田 直毅	ワーク・ライフ・バランス施策が企業業績に影響を与えるメカニズム	2021 2024 36
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	講師	橋本 力	実証的分析による地域包括支援センター職員のワーク・ライフ・バランスに関する検証	2021 2023 37
基盤研究(C)	心理学部	教授	山本 恭子	対人感情制御における感情表出の機能的役割の解明	2021 2024 38
基盤研究(C)	心理学部	准教授	毛 新華	中国の在留邦人の文化適応支援に関する心理学的研究	2021 2024 39
基盤研究(C)	心理学部	准教授	松島 由美子	中小企業で有効なメンタルヘルス支援プログラムの開発	2021 2023 40
基盤研究(C)	現代社会学部	研究員	佐藤 忠信	土木工学における非ガウス確率事象の検出とその解析法に関する研究	2021 2023 41
基盤研究(C)	薬学部	助教	井上 雅己	免疫難病治療の新規モダリティを目指したTNFR1シグナル選択的阻害薬の創製	2021 2023 42
基盤研究(C)	薬学部	教授	中川 公恵	時間空間特異的ビタミンK変換酵素欠損マウスを用いたビタミンKの新規生理機能の解明	2021 2023 43
基盤研究(C)	薬学部	准教授	中川 左理	支援システムを用いた緩和ケアチーム活動アウトカム評価 薬剤師介入検証と職能最大化	2021 2023 44
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	研究員	前田 和宏	横紋筋肉腫に対するミオスタチンアンチセンス核酸治療	2021 2023 45
基盤研究(C)	薬学部	准教授	中本 賀寿夫	ストレス暴露により生じる慢性疼痛機序における脂肪酸受容体の関与	2021 2023 46
基盤研究(C)	薬学部	講師	内海 美保	薬学生の地域志向性を高めるための教育に関する研究	2021 2023 47
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	講師	南 哲	自閉スペクトラム症に対する身体と環境への気づきを軸にしたリハビリテーションの構築	2021 2023 48
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	松原 貴子	ロコモ・サルコペニア・フレイル疼痛の病態解明-中枢性疼痛調節能のクラスター分析	2021 2023 49
基盤研究(C)	栄養学部	教授	藤岡 由夫	脂肪細胞とマクロファージ共培養下における脂質代謝と炎症に及ぼす脂肪酸の効果	2021 2023 50
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	准教授	森下 美和	英語教育に生かす言語景観研究：誤用分析と異文化コミュニケーションの観点から	2020 2023 51
基盤研究(C)	経済学部	教授	三宅 敦史	収束増進経済における経済成長の促進並びに所得分配の改善に関する理論的・実証的研究	2020 2023 52
基盤研究(C)	経済学部	講師	大塚 英美	日本企業におけるダイバーシティ&インクルージョンのマネジメントに関する実証研究	2020 2023 53
基盤研究(C)	現代社会学部	教授	松田 ヒロ子	冷戦期日本の「軍事化」の再検討：1950-70年代の北海道を中心に	2020 2023 54
基盤研究(C)	経済学部	教授	田宮 遊子	労働、所得、社会保障、世帯構造が母子世帯の育児時間に与える影響に関する研究	2020 2023 55
基盤研究(C)	現代社会学部	准教授	李 洪章	在日朝鮮人を取り巻く言説空間：「北朝鮮」表象を中心に	2020 2023 56
基盤研究(C)	心理学部	准教授	河瀬 諭	音楽と身体運動の結びつきにおける個人差をもたらす要因	2020 2023 57
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	阪井 一雄	左側頭極機能障害型における脳イメージングと言語機能に関する研究	2020 2023 58
基盤研究(C)	薬学部	助教	安藤 徹	頭頸部がんに対する新たな治療法としてのガドリニウム中性子捕捉療法	2020 2023 59
基盤研究(C)	薬学部	教授	鷹野 正興	Rimkbの精子形成における役割の解明	2020 2023 60
基盤研究(C)	経済学部	教授	伴 ひかり	炭素削減政策と貿易政策の相互支持性と農業部門の役割について	2020 2023 61
基盤研究(C)	栄養学部	教授	竹橋 正則	ポリ(ADP-リボシル)化の制御が多能性幹細胞の機能に与える影響	2020 2023 62
基盤研究(C)	栄養学部	教授	津川 尚子	ビタミンD栄養における身体的・精神的生活関連因子の解析と効果的栄養改善方法の探索	2020 2023 63
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	大濱 慶子	移動、越境する大衆娯楽：中国における社交ダンスの受容と再生に関する文化史的研究	2019 2023 64
基盤研究(C)	法学部	教授	福嶋 敏明	アメリカの「文化戦争」における「信教の自由」をめぐる新たな問題状況に関する研究	2019 2023 65
基盤研究(C)	総合リハビリテーション学部	教授	大塚 美和子	教職員と保護者の力を活かした問題予防型校内支援システムの実践モデル開発	2019 2023 66
基盤研究(C)	薬学部	教授	杉岡 信幸	造血幹細胞移植における赤血球数変動を考慮したタクロリムスの全血中濃度再評価	2019 2023 67

※交付額0円の科研費は、昨年度に最終年度を迎えたが、1年度の補助事業期間の延長を行ったものである。
2023年度に日本学術振興会から交付される科研費はないが、研究期間は継続しており、昨年度からの繰越金などによって研究活動を行う。

— 科学研究費助成事業 —
本学における採択課題一覧
【研究代表者】

研究種目	部局名	職名	研究代表者	研究課題名	事業期間
基盤研究(C)	栄養学部	講師	伊藤 智	カンピロバクター属菌フードチェーン下流における汚染モデルの構築とリスク管理最適化	2019 2023 68
基盤研究(C)	薬学部	助教	瀧本 竜哉	生体内に混入した水銀イオンの除去を目的とする水銀吸着ブロープの開発	2018 2023 69
挑戦的研究(萌芽)	薬学部	教授	国嶋 崇隆	テトラアリアルアンモニウム合成法の開発	2023 2025 70
挑戦的研究(萌芽)	薬学部	教授	武田 真莉子	飲むワクチン(バイオ医薬)を革新的素材ウルトラファインバブルで創製する挑戦的研究	2023 2025 71
挑戦的研究(萌芽)	経営学部	教授	齋藤 政彦	接続とHiggs場に関するモジュライ空間の幾何学とその応用	2022 2024 72
若手研究	経営学部	講師	河瀬 豊	伏在税の推計	2023 2025 73
若手研究	薬学部	助手	二木 梓	血球分画減少に伴う腎血漿流量変動を考慮した腎障害推定方法の確立	2023 2025 74
若手研究	人文学部	准教授	倉持 充希	17世紀イタリアにおける共同制作絵画に関する包括的研究	2022 2024 75
若手研究	経済学部	講師	麻生 裕貴	財政政策が人口変動、世代間階層移動、経済成長に及ぼす効果と効率性に関する理論研究	2022 2024 76
若手研究	総合リハビリテーション学部	助教	田代 大祐	地域在住高齢者における簡易的、定量的横隔膜機能評価スケールの開発	2022 2024 77
若手研究	総合リハビリテーション学部	助教	大賀 智史	定量的感覚検査と活動量計を活用した化学療法誘発性末梢神経障害の新規疼痛病態の探索	2022 2023 78
若手研究	グローバル・コミュニケーション学部	講師	クリーグアレグザンダー・ウィリアム	Culturally-Tuned Neurobiology: The Role of Culture and Selective Attention on East-West Differences in Social Anxiety and Emotion Expression	2021 2023 79
若手研究	現代社会学部	准教授	江田 英里香	基礎教育における保護者の参加とその意識に関する実証的研究	2020 2023 80
若手研究	心理学部	教授	村井 佳比子	セラピストの面接技術がクライアントの行動変化をもたらすメカニズムの実験的検討	2020 2023 81
若手研究	心理学部	准教授	竹田 剛	摂食障害予防教育に関するゲーミング教材の開発と評価	2020 2023 82
若手研究	栄養学部	教授	和田 晋一	一次微分波形分析法による量カブノグラフィ自動呼吸機能分析装置の開発	2020 2023 83
若手研究	総合リハビリテーション学部	助教	尾崎 遠見	反応時間の個人内変動を主指標とした軽度認知障害発症リスク評価についての前向き研究	2019 2023 84
若手研究	心理学部	准教授	中川 裕美	うつ病休職者に対するワーク・ライフ・バランス支援プログラムの開発	2019 2023 85
若手研究	薬学部	講師	池村 舞	糖尿病患者へのがん化学療法レジメン提案に向けた基礎・臨床での有効性・安全性評価	2019 2023 86
若手研究	人文学部	准教授	福島 あずさ	ヒマラヤ南斜面域におけるモンスーン開始前の降水活動と水蒸気量変動の解明	2018 2023 87
研究活動スタート支援	人文学部	准教授	倉持 充希	17世紀イタリアにおける芸術家の学識とその評価に関する研究	2019 2023 88
研究活動スタート支援	経済学部	講師	安達 啓介	当期および将来の事業量を考慮した伐出作業時における森林インフラ投資の貢献度の推定	2019 2023 89
研究活動スタート支援	人文学部	講師	鈴木 遥	インドネシア沿岸における人々による木造住居の住み継ぎにみる熱帯材の長期的利用	2021 2023 90
研究活動スタート支援	現代社会学部	講師	梅川 由紀	現代社会におけるモノ・ごみと人々の関わり方の特徴：フリマアプリ利用者への調査から	2021 2023 91
特別研究員奨励費	グローバル・コミュニケーション学部	教授	胡 士雲(LI DONGSONG)	近代における中国語と日本語の語彙間のコミュニケーションの歴史について	2022 2023 92

※交付額0円の科研費は、昨年度に最終年度を迎えたが、1年度の補助事業期間の延長を行ったものである。
2023年度に日本学術振興会から交付される科研費はないが、研究期間は継続しており、昨年度からの繰越金などによって研究活動を行う。